

ファミサポ★ニュース

フォローアップ研修を行いました!!

令和2年8月20日フォローアップ研修を行いました。『子どもの事故と安全・応急処置法』について、西武文理大学の茂手木明美教授より、学び直しました。

『子どもの発達を理解しながら、危ないものを取り除くことが最良とは限らない。十分に配慮しながら、子どもの成長に合わせて、安全に過ごせる力(子どもが危険を回避していく力)を育てる事も大切だ。』と教えていただきました。

“知る”ことは、保育の安全・安心につながり、子どもたちに関わる私たちの自信を深めていきます。フォローアップ研修は、毎年1回行っています。どなたでも参加できますので、皆様のご参加をお待ちしております。



ファミサポ室が新しくなりました!!

令和2年11月に子育て支援課が新設され、ファミリーサポートしょうわの主管課が、福祉課から子育て支援課に変わりました。これまでのファミサポ室は、子育て支援課の事務室になり、ファミサポは、同じ総合会館2階(廊下奥の左側)に移転しました。

お近くにお越しの際は、ぜひお立ち寄りください!!

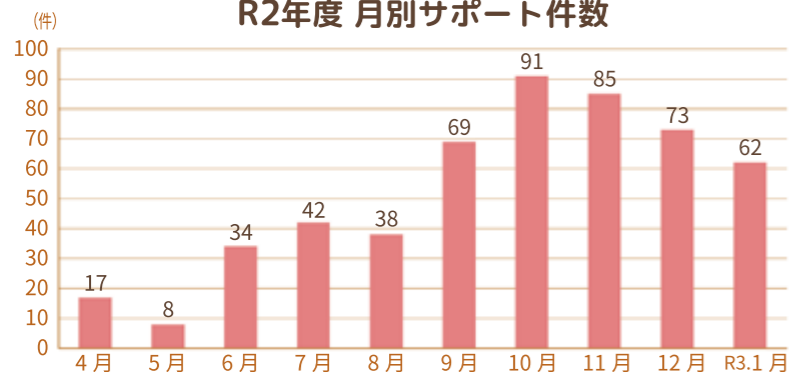


ファミリーサポートしょうわ 活動実績

会員数(令和3年1月末日現在)

依頼会員 495人 | 援助会員 147人 | 両方会員 23人

R2年度 月別サポート件数



☆前日から、依頼会員と援助会員双方のご家族の体調確認を行わせていただいております。検温にご協力ください。

☆マスクの着用(2歳以下のお子さんを除く)・手指や室内・玩具の消毒・換気に配慮します。
☆サポートは、出来るだけ短時間でお願います。ファミサポ室での預かりは、1組限定とさせていただきます。

☆子育ては、みんなで!! すぐそばに、昭和町の子育てを応援する、あたたかいファミサポさんたちがいます。

誰かに子育てを手助けしてほしい時は、ファミサポにご相談ください。

発行元

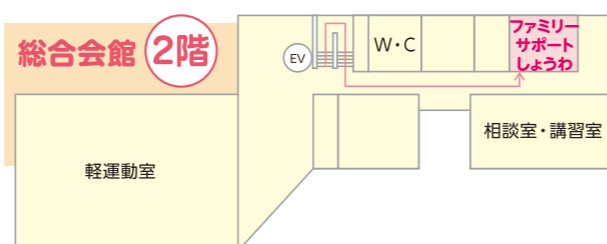
昭和町役場 子育て支援課 ファミリーサポートしょうわ

住所 / 山梨県中巨摩郡昭和町押越616 昭和町総合会館内

TEL / 055-275-8115

E-メール / fami-sapo@town.showa.yamanashi.jp

* 昭和町総合会館案内図 *



ぶらんこ通信

令和3年

3

特集号

表紙のイラストは
依頼会員ファミリーの
かひちゃんか
描いてくれました。



ファミリーサポートしょうわでは、子育てで困った時、

手助けしてほしい方と手助けできる方とを結び、

地域の中で子育てを支え合う有償ボランティア活動を行っています。

その根っこは「地域の子供達や、困っている家庭のために何か力になれば!」という

優しく温かいお気持ちに支えられています。

共働き世帯、ひとり親世帯をはじめ、身近に頼れる人のいない

子育て家庭にとって、大きな力となっています。

子育てで困った時はお気軽にご相談下さい!

たくさんの温かなまなざしが、子育て家庭を見守り、応援しています。

また、子育てを手助けして下さる方も募集中です!

出来る時に出来る事を無理なく活動して頂いています。

私たちと一緒に地域の子育てを応援して下さいませんか?

ご興味のある方は是非ご連絡下さい!

地域の皆でつながって子どもたち、 すくすく大きくなあれ!!

子育てサポーター養成講座
★子育てふあーむ★は
夏頃の開催を予定しています。

みんなにエール☆

ファミサポ
アンケートより

コロナ禍の2020、そして年が変わった今もなお、大変な状況が続いております。まず、長期に渡りご尽力されている医療従事者の方々、暮らしを支えて下さっているすべての方々に、心より感謝申し上げます。これまで「当たり前」であった日常生活が当たり前でなくなった今、何気なく過ごしていた毎日が有難く感じます。ファミサポでは、会員の皆様にアンケートをお願いし、その切実な声を集めました。お寄せ頂いた声から、どの世代の方も大変な思いをされている事、一生懸命な姿が伝わってきました。同じような思いや経験をされ、共感できる事もあるのではないのでしょうか。会う事が出来なくても私たちは決して1人ではありません。皆の思いを胸に、ひとりひとりができる事を意識しながら、思いやり、助け合い、支え合い、前に進んで行きましょう!



Q1. 大変だった事は何ですか?

新型コロナウイルスが流行していく中で、重症化して亡くなる人のニュースを聞き、今までにない恐怖を感じました。罹らないように気を付けながらの生活も慣れずに、先が見通せない不安な気持ちで過ごしていました。

徐々に慣れ、マスクも日常になってきましたが、唯一楽しみにしていた日々のストレスを解消する“友人とおしゃべり会”が出来ない事が残念でした。

小さな孫も、コロナだから今まで通りには出来ない事を理解していて、子どもも我慢しているんだと感じました。

仕事が例年の流れとは違って、異例続きの対応で大変でした。

離れて暮らす娘親子に会いに行けないのが、とても寂しく残念でした。

赤ちゃんとお散歩中に、知らない年配の方に抱っこ紐を触られただけに、驚いてしまった自分がいました。

出産したばかりだったので、外へ出られず、人に会えないのが辛かったです。出産のお祝いに友達が行きたいと言ってくれていたのに、全部叶いませんでした。

夜、街のお店の灯りが消え、ショッピングセンターの駐車場に停まっている車も、本当に少なく、「今大変なんだ」と危機感や不安でいっぱいでした。

赤ちゃんのいる家庭なので、当時は買い物にも気を使いました。買った物まで消毒したり。夫は手洗いを徹底しすぎて、あかぎれになってました。

上の子の幼稚園が休園となり、2月に生まれた下の子と、一日中家で過ごしました。毎日何をして遊ぼう? 3食何を作ろう?と考えるのが大変でした。

小さな子どもを連れて遊ぶ場所が、どこにもありませんでした…。今は、児童館に行けるようになりホッとしています。

出産して、4か月後に、やっと友達に会えました。

ずっとマスクをつけていなければならぬことが大変でした。

感染防止の為、手洗い・消毒・検温・マスクと気が安まることはありませんでした。

子どもがちょっと風邪っぴいだけでも、親と会うことは控えてました。

幼稚園入園の年でした。6月まで休園になり、慣れていないのにいきなり集団の預け保育に入れなければならず、子どもがかわいそうだなと思いました。

会いたい人に会えなかったです。

マスクが無くて、早朝からドラッグストアに並びました。

気軽に外出できなくなり、どこへ行っても、消毒やマスクなど、感染に気を付けなければならぬようになったことです。



学校のじゅぎょうがすまなくなったこと。

自由に旅行に行けない、ご飯を食べに行けない、友人と会って話をする事も出来ませんでした。

Q2. 良かったことはありましたか?

県をまたいで移動の自粛があり、孫が帰省できず、寂しい思いもありましたが、SNSを利用して、話をしたり、遊んでいる様子を見る事が出来るようになりました。それが、毎週、定期便のようになり、孫の成長を実感出来た事は収穫でした。

コロナという共通の話題について、色々な方と情報交換が出来たことは、自分のためになりました。

家族全員が揃う時間が、増えました。家族皆で、一緒にご飯を食べる事が多くなりました。

必要以上の外食が減ったので、家計の支出が抑えられました。

実家に帰って来られました。山梨は、安心して自分の車で、どこへでも外出できます。

自粛中と、自分の出産が重なったので、自分だけ出られないという孤独感を感じなかったです。

今までの無駄な時間(買い物等)を過ごさず、目的をしっかりと持ち行動するようになりました。

上の子は、1歳になった時からずっと仕事で、一緒にいられる時間が少なかったため、休園中は大変だったけど、子どもと濃密な時間を過ごせて、幸せでした。

家族と過ごす時間が増えました。

赤ちゃんがいるので、宅急便の対応が大変でしたが、玄関先での置配にシステムが変わり、助かっています。

子どもとゆっくり家で過ごす時間が増えて、オムツが取れました。

孫たちと野菜作りして、いも掘りやスイカ割りをして楽しめました。

何も思いつきません。良いことは何もありません。

小児科専門医の先生によると、予防対策(手洗い・マスクの着用(2歳未満を除く)・3密の回避・換気・共用の回避)を徹底することで、健康を守ることが出来るそうです。

お子さんと一緒に、手洗いをきちんと行いましょう。手や指に付着しているウィルスの数は、流水による15秒の手洗いだけで、1/100に。石けんやハンドソープで10秒もみ洗いし、15秒すすぐと、1/10,000に減らせるそうです。『ABCの歌』『キラキラ星』『ぞうさん1番2番』が大体30秒です。ぜひお子さんと歌いながら、手洗いして下さいね。

★手洗いの6つのタイミング★

- ①外から帰った後、すぐ
- ②咳やくしゃみ・鼻をかんだ時
- ③食事をする前と後
- ④そうじの後
- ⑤トイレの後
- ⑥共有の物を触った時

子どもたちの言葉

学校が休校になったけど、今は友達とあそべる。

ファミサポでは、おうち時間を少しでも楽しみ、心がホッとできるような情報を発信しています。〈ブログ山梨しようわ〉から検索してご覧ください。これからも、毎月数回更新していきますので、どうぞお楽しみに!!



▲ブログ山梨しようわ▲

